

第1号議案 2009年度事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人多言語社会リソースかながわ (MIC かながわ)

1. 組織運営

(1) 理事会

理事会を下記の日程で開催し、運営方針について検討した。

2009年4月20日(月)・6月5日(金)・7月8日(水)・8月10日(月)・9月4日(金)・10月9日(金)・11月11日(水)・12月16日(水)

2010年1月15日(金)・2月22日(月)・3月15日(月)

(2) 総会

MIC かながわ第8回定期総会 5月23日(土) 15:00~16:30 港湾労働者福祉センター

参加者数：正会員数 45名のうち 出席27名・委任状9名・書面表決9名

総会に引き続き行われた交流会では、医療通訳スタッフやコーディネーターを含む MIC 会員をはじめ、通訳派遣協定医療機関のソーシャルワーカーの参加も得て、有意義な時間を過ごした。

2. 事業の成果

2003年度~2007年度まで続いた基金21による助成、2008年度の県負担金による協働事業を終了し、2009年度4月より県・市町村が参加しての「医療通訳派遣システム事業」を開始した。

このシステムでは、間接費用にあたるコーディネーター費用、新任通訳養成研修の費用等を県・市町村構成による協議会が負担し、事業の管理運営費や現任医療通訳の資質向上に関わる研修費用を MIC かながわが負担している。また、直接経費にあたる医療通訳スタッフ報酬金は原則医療機関の負担となり、医療機関から患者へ一部負担を求める場合の金額に一定の制限を設けた。派遣実績は2547件にのぼった。

一方、県事業外で当法人から直接派遣する MIC かながわ医療通訳派遣事業についても、医療通訳派遣システム事業に準じる内容で派遣先の医療機関が原則費用を負担し、患者負担に制限を設けるシステムとしたが、医療通訳派遣実績は1146件となり、両事業を合わせると協定医療機関への医療通訳派遣実績は3693件にのぼった。

医療通訳の普及については、かながわ医療通訳セミナー2010を開催し、外国人診療のコミュニケーションと文化についての情報を共有した。その他、全国から講師派遣依頼等が多く寄せられ、医療通訳の社会的認知の高まりを感じた。

3. 事業内容

(1) 特定非営利活動に関わる事業

① 医療通訳の養成及び認定に関わる事業

1) 医療通訳スタッフの募集

県のたよりに掲載、9言語（中国語・スペイン語・ポルトガル語・タガログ語・英語・タイ語・ベトナム語・カンボジア語・ラオス語）の募集を行った。タガログ語・カンボジア語・ラオス語は応募者なく、6言語104名の応募に対して事前選考後に研修を行い、最終的に24名が選考を通過した。

2) 医療通訳スタッフの登録

平成2008年度から引き続いての登録者147名、2009年度の新規登録者24名、計171名（うち2名は2言語登録者）が登録した。

3) 医療通訳スタッフ初任者養成研修

応募者多数のスペイン語・英語・中国語に関しては8月下旬に事前選考が行われた。

【第1回】9月5日（土）自治総合研究センター

- i. 医療通訳派遣システムについて
- ii. 異文化コミュニケーションと対人援助スキル
- iii. 基礎的な通訳技術
- iv. 外国人医療の現状
- v. 医療知識の基礎

【第2回】9月12日（土）自治総合研究センター

- i. 医療通訳の心得
- ii. 多文化共生について
- iii. 在留資格について
- iv. 医療制度の基礎・医療機関のしくみ
- v. 医療通訳の現場から

【第3回】9月26日（土）シミュレーション/言語別ロールプレイ 自治総合研究センター

【第4回】10月3日（土）シミュレーション/言語別ロールプレイ 自治総合研究センター

上記のとおり研修を行い、その結果、24名が最終選考を通過した。

【オリエンテーション】10月29日（木）かながわ県民活動サポートセンター

- i. システムの概要
 - ii. 協定医療機関の情報
 - iii. 具体的なコーディネートの流れ
- ※最終選考通過者対象

4) 医療通訳スタッフ現任者研修

現任医療通訳スタッフの資質向上のため課題検討と専門的内容の講義等の研修を行った。

【第1回】7月11日（土）13:00～17:00 神奈川近代文学館

- i. 講義：「医療安全管理について ～ヒヤリ・ハット事例の共有～」
- 講師：（財）労働科学研究所 研究部副部長 毛利一平 氏（医師）

ii. 視聴：「目で見るコーディネーターの仕事」

協力：MIC通訳コーディネーター

〔参加者数〕 71人

【第2回】11月14日（土）13：00～17：00 自治総合研究センター

i. 講義：「新型インフルエンザの基礎知識と医療の流れ」

ii. 講義：「HIVについて通訳に知っておいてほしいこと」

i. と ii. の講師：横浜市立市民病院 感染症内科 倉井華子 氏（医師）

iii. 講義：「外国人にとってなぜ結核が重要か」

講師：港町診療所所長 沢田貴志 氏（医師）

iv. 講義：「感染症患者のサポートについて」

講師：石田則子 氏（保健師）

〔参加者数〕 88人

【第3回】3月6日（土）13：00～16：45 波止場会館

i. 講義：精神障害の基礎知識

講師：心療内科医 土屋洋子 氏（医師）

ii. 講義：精神科患者への接し方について

講師：精神科医 倉林るみい 氏（医師・多文化間精神医学会）

〔参加者数〕 99人

※上記現任研修以外に、日常的な資質向上のため言語別グループによる自主勉強会を開催。
全言語共通 病理学5回、中国語5回、スペイン語11回、ポルトガル語6回、韓国朝鮮語
1回、英語4回、タイ語6回

5) コーディネーター研修

【第1回】6月30日（火）16：40～18：30 かながわ県民センター

i. 講義・演習：「接遇について」

講師：下村 蓉子 氏（元日本航空キャビンアテンダント）

〔参加者数〕 12人

【第2回】2月19日（金）17：30～18：50 かながわ県民センター

i. コーディネーターマニュアル改訂版に基づいたコーディネーター業務の再確認

〔参加者数〕 12人

【日時】2009年4月1日～2010年3月31日 【場所】神奈川県内 【従業員人員】203名

【対象者】現任医療通訳スタッフ・コーディネーター 及び 新任医療通訳研修参加者

【① 事業合計支出額】 2,450,160円

② 医療通訳の派遣に関わる事業

<内容1> 医療通訳派遣システム事業

1) 医療通訳スタッフの派遣

協定医療機関(17病院)からの通訳派遣の依頼にもとづき、コーディネーターが医療通訳スタッフを派遣した。

病院・言語別実績

【単位：件】

医療機関名	所在地	中国語	スペイン語	ポルトガル語	韓国・朝鮮語	タガログ語	タイ語	英語	ベトナム語	カンボジア語	ラオス語	合計
済生会神奈川県病院	横浜市神奈川区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
済生会横浜市東部病院	横浜市鶴見区	19	121	87	0	8	0	32	1	0	0	268
横浜市民病院	横浜市保土ヶ谷区	66	56	8	1	3	10	80	0	0	0	224
社会保険横浜中央病院	横浜市中区	24	4	0	2	0	2	6	0	0	0	38
横浜市大センター病院	横浜南区	138	40	38	4	21	28	43	38	0	1	351
県立循環器呼吸器病センター	横浜市金沢区	2	12	0	4	2	0	0	0	0	0	20
県立こども医療センター	横浜南区	57	42	12	0	28	2	38	4	2	0	185
聖マリアンナ医科大学病院	川崎市宮前区	13	4	14	2	9	3	13	0	0	0	58
太田総合病院	川崎市川崎区	16	90	45	0	0	0	32	9	0	0	192
総合病院衣笠病院	横須賀市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
茅ヶ崎徳洲会総合病院	茅ヶ崎市	5	2	0	1	0	10	0	0	0	0	18
東海大学医学部付属病院	伊勢原市	17	305	159	0	3	1	9	13	17	0	524
海老名総合病院	海老名市	1	101	34	0	1	7	15	17	0	1	177
厚木市立病院	厚木市	0	70	8	0	0	0	0	1	0	0	79
北里大学病院	相模原市	3	116	6	0	0	8	10	0	0	0	143
県立足柄上病院	足柄上郡松田町	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	11
川崎市立川崎病院	川崎市川崎区	49	67	10	2	0	7	124	0	0	0	259
合計		410	1041	421	16	75	78	402	83	19	2	2547

2) コーディネート業務

かながわ県民センター2階「県民の声・相談室」第3ブースにて14名のコーディネーターが当番制で月～金曜日、9時～12時/13時～16時、コーディネート業務に就いた。

コーディネーター会議を、2009年4月20日(月)、5月18日(月)、6月15日(月)、7月27日(月)、8月31日(月)、9月28日(月)、10月26日(月)、11月16日(月)、12月21日(月)、2010年1月18日(月)、2月15日(月)、3月15日(月)に開催し、通訳派遣に関しての連絡、課題

検討を行った。また、コーディネーターマニュアルの改訂、現任医療通訳・コーディネーター研修の企画運営等への協力、コーディネーター業務の紹介ビデオを作成し現任医療通訳スタッフ研修で放映する等の活動を行った。

3) 運営協議会の設置・参加

運営協議会を9月4日(金)、部会を9月7日(月)、運営協議会および医療部会を12月25日(金)に開催し、事業の円滑な運営について、およびシステムの充実・強化にむけて検討した。

4) 関係機関との連絡調整

協働の相手である県国際課と6月17日(水)、9月1日(火)、12月10日(木)、3月9日(火)に調整会議をもった。また、事業運営に関するワーキンググループをたちあげ、第1回会議を3月24日(水)に実施した。

[日時]2009年4月1日～2010年3月31日 [場所]神奈川県内 [従業員人員]180名
 [対象者]医療通訳を必要とする協定医療機関 17病院およびそこに受診する患者とその家族等

<内容2> MIC かながわ医療通訳派遣事業

1) 医療通訳スタッフの派遣

県医療通訳派遣システム事業以外の協定医療機関へ医療通訳スタッフの派遣を行った。2008年度からの県協働事業の病院負担の仕組み(通訳謝礼3,000円のうち患者に請求可能な金額は上限1,000円)を2009年度より導入したが、積極的な医療機関は依頼がかえって増加し、医療通訳にかかる経費について医療機関側の理解が深まった成果とみられる。医療機関に医療通訳受け入れにあたっての説明をした上、覚書を取り交わした後、医療通訳スタッフの派遣を行った。

病院・言語別実績

【単位:件】

医療機関名	所在地	中国語	スペイン語	ポルトガル語	韓国・朝鮮語	タガログ語	タイ語	英語	ベトナム語	カンボジア語	ラオス語	合計
けんりつしおみだいびょういん 県立汐見台病院	横浜市磯子区	26	80	4	0	0	0	2	0	0	0	112
けんりつ 県立がんセンター	横浜市旭区	9	19	29	7	2	0	1	1	0	0	68
けんりつせいしんいりょう 県立精神医療センター	横浜市港南区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
こくさいしんぜんそうごうびょういん 国際親善総合病院	横浜市泉区	36	5	0	0	16	0	0	23	0	0	80
よこはまいりょう 横浜医療センター	横浜市戸塚区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
よこはましりつだいがくふぞくびょういん 横浜市立大学附属病院	横浜市金沢区	31	29	0	0	10	7	5	4	0	0	86
さいせいかいよこはましなんびょういん 済生会横浜市南部病院	横浜市港南区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
よこはまみなみきょうさいびょういん 横浜南共済病院	横浜市金沢区	5	95	9	0	0	0	7	0	0	0	116

げんご 言語 いりようきかんめい 医療機関名	所 在 地	中 国 語	ス ペ イン 語	ポ ルト ガ ル 語	韓 国 ・ 朝 鮮 語	タ ガ ロ グ 語	タ イ 語	英 語	ベ ト ナ ム 語	カ ン ボ ジ ア 語	ラ オ ス 語	合 計
せい 聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院	横浜市 旭区	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8
よこはまろうさいびょういん 横浜労災病院	横浜市 港北区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
みなとまちしんりょうじょ 港町診療所	横浜市 神奈川区	8	61	0	6	4	0	0	0	0	0	79
えだきねんびょういん 江田記念病院	横浜市 青葉区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベイサイドクリニック	横浜市 西区	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
よこはましりつのうけつかん 横浜市立脳血管センター	横浜市 磯子区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
よこはまでいしんびょういん 横浜通信病院	横浜市 神奈川区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
とうかいだいがくおおいそびょういん 東海大学大磯病院	中郡 大磯町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
よこすかしりつしみんびょういん 横須賀市立市民病院	横須賀市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
みやがわびょういん 宮川病院	川崎市 川崎区	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
ひらつかしみんびょういん 平塚市民病院	平塚市	76	320	62	0	7	3	8	0	6	0	482
けんりつそうごうりょういくそうだん 県立総合療育相談センター	藤沢市	0	0	6	0	0	0	0	0	1	0	7
ゆがわちちゅうおうおんせんびょういん 湯河原中央温泉病院	足柄下郡 湯河原町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
かわさきさいわいびょういん 川崎幸病院	川崎市 幸区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
とうめいあつぎびょういん 東名厚木病院	厚木市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
とうめいあつぎ とうめい厚木クリニック	厚木市	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8
やまととくしゅうかいびょういん 大和徳洲会病院	大和市	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	4
かわさきしりついでびょういん 川崎市立井田病院	川崎市 中原区	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4
かながわ 神奈川ハビリテーション病院	厚木市	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0	21
ハートクリニック	鎌倉市	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
くりはま 久里浜アルコール症センター	横須賀市	48	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48
とうきょうとりつまつざわびょういん 東京都立松沢病院	東京都	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いせはらきょうどうびょういん 伊勢原協同病院	伊勢原市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
しょうなんちゅうおうびょういん 湘南中央病院	藤沢市	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
さいせいかいひらつかびょういん 済生会平塚病院	平塚市	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4
にほんい かいがく 日本医科大学 むさしこすぎびょういん 武蔵小杉病院	川崎市 中原区	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8
おだわらしりつびょういん 小田原市立病院	小田原市	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
にほんこうかんびょういん 日本鋼管病院・ こうかんクリニック	川崎市 川崎区	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合計		244	661	112	15	45	10	24	28	7	0	1146

[日時]2009年4月1日～2010年3月31日 [場所]神奈川県内、東京都 [従業員人員]180名

[対象者] <内容1>の事業で対応しない協定医療機関 36病院

＜内容3＞ 感染症通訳派遣（外国籍県民エイズ通訳等委託事業等）

神奈川県保健福祉部健康増進課からの委託内容に基づき、大和・厚木等の保健所からの感染症に関わる通訳依頼（エイズ・結核等）に対して、感染症に関する研修を修了している医療通訳スタッフを派遣した。派遣実績 8件

なお、県委託事業対応範囲外（横浜・川崎等）からの依頼についても、県委託事業に準じる内容で医療通訳スタッフを派遣した。派遣実績 14件

〔日時〕2009年4月1日～2010年3月31日 〔場所〕神奈川県内 〔従業員人員〕26名

〔対象者〕保健所の感染症担当保健師およびその担当患者等

【②事業合計支出額】16,755,076円

③ 災害時・緊急時の通訳等に関する活動

＜内容1＞ 一般通訳派遣事業

1) 「かながわ一般通訳支援事業」を神奈川県国際課から受託、通訳協力者の派遣コーディネートおよび研修を行った。派遣実績 116件

2) 一般通訳協力者研修

【第1回】10月24日（土）14:00～16:00 平沼記念レストハウス

テーマ：『災害時通訳・翻訳ボランティア立場と役割』

i. 講義：「医療機関における災害時体制・対策の概要」

講師：川崎市立多摩病院 医療安全管理対策室 師長 馬野由紀氏

ii. 寸劇：「神奈川県の災害時の通訳翻訳体制を知る

～通訳・翻訳者が安心して活動に参加するために～」

ファシリテーター：MIC かながわ災害担当 原田純氏

〔参加者数〕23人

【第2回】3月17日（水）14:00～16:00 横浜市市民活動支援センター

テーマ：『教育現場に向かう通訳者のための研修』

i. 講義：「外国人教育相談の現場から見えてきたこと」

講師：あーすぷらざ外国人教育相談 加藤佳代氏

ii. 演習：「学校に派遣されたときの通訳の心得」

講師：MIC かながわ通訳コーディネーター 岩本弥生氏

iii. 講義：「災害時の外国人支援」

講師：あーすぷらざ外国人教育相談 加藤佳代氏

〔参加者数〕55人

[日時]2009年4月1日～2010年3月31日 [場所]神奈川県内 [従業員人員]163名
 [対象者]日本語を母語としない外国籍県民および通訳を必要とする公共機関

<内容2> その他、講師派遣・会議参加等

1) 神奈川県消防学校外国語講座 講師派遣

【第1回】7月13日(月) 派遣者：楊監事、城間スペイン語通訳、ヒューバート会員

【第2回】12月21日(月) 派遣者：楊監事、城間スペイン語通訳、ヒューバート会員

2) 神奈川災害ボランティアネットワーク

運営委員会参加 9月24日(木)

【③事業合計支出額】 1,186,000円

④ 日本語を母語としない住民のための健康相談による地域の健康促進活動

<内容1> 外国人無料健康相談会

港町診療所、神奈川県等の主催による健康相談会に、広報、通訳派遣等の協力を行った。

日時	会場	会場所在	受診者数
5月17日(日)	貝塚カトリック教会	(川崎市川崎区)	63名
7月5日(日)	いちようコミュニティハウス	(横浜市泉区)	72名
9月27日(日)	大和カトリック教会	(大和市)	71名
10月18日(日)	横濱華僑キリスト教会	(横浜市中区)	143名
11月15日(日)	藤沢カトリック教会	(藤沢市)	45名
2010年			
2月7日(日)	鶴見福祉保健センター	(横浜市鶴見区)	254名
3月21日(日)	コミュニティハウスさくら	(川崎市川崎区)	59名

[日時]2009年4月1日～2010年3月31日 [場所]神奈川県内 [従業員人員]40名
 [対象者]日本語を母語としない外国籍県民および通訳を必要とする公共機関

【④事業合計支出額】 1,027,000円

⑤ 日本語を母語としない方や外国籍住民がスムーズに医療につながることをするための

医療制度の研究・提言及び人権に関する啓発事業

<内容1> 医療通訳派遣システム事業 多文化共生社会推進事業

『かながわ医療通訳セミナー2010』

日時・会場：1月9日(土) 13:00～17:00 かながわ県民センター

テーマ：外国人診療のコミュニケーションと文化

- 内容：第1部 i. 基調講演：「外国人診療に役立つ文化的背景」
 演者：西村明夫氏（MIC かながわプログラムアドバイザー）
 ii. 講演：各国の医療保険制度について
 演者：キシモト・グスターボ氏（ペルー）
 浜田 エミリア氏（ブラジル）
 三木 紅虹氏（中国）
 荒井 アオイ氏（タイ）
 スニール・シャマル氏（インド）

<COFFEE BREAK：講演者等と参加者のふれあいの時間>

- 第2部 i. 講演：「外国人女性医療の現場から」
 演者：竹田千尋氏（助産師）
 ii. 講演：「お産にまつわる各国の文化紹介」
 演者：第1部のii. と同じ

[参加者数] 138人

<内容2>その他の医療通訳啓発事業

1) 公開講座

医療通訳のノウハウを広く一般の方に知っていただくために、公開講座を実施した。

<医療スペイン語・英語基礎講座>

コース名	講義回数	開催時期	受講者数
医療通訳体験講座：英語	(全1回)	8月3日	11名
医療通訳体験講座：スペイン語	(全1回)	8月12日	5名
医療通訳基礎講座：英語 午後コース	(全10回)	9月7日～11月30日	9名
医療通訳基礎講座：英語 夜間コース	(全10回)	9月10日～11月19日	5名
医療通訳上級講座：英語 午後コース	(全10回)	9月9日～11月25日	5名
医療通訳基礎講座：スペイン語 夜間コース	(全8回)	9月4日～10月23日	8名
医療通訳基礎講座：スペイン語 午前コース	(全8回)	10月28日～12月16日	5名
医療通訳中級講座：スペイン語 夜間コース	(全8回)	10月30日～12月18日	7名
医療通訳基礎講座：英語 午後コース	(全10回)	1月6日～3月17日	7名
医療通訳基礎講座：英語 夜間コース	(全10回)	1月11日～3月15日	10名
医療通訳中級講座：英語 午後コース	(全10回)	1月18日～3月29日	9名
医療通訳基礎講座：スペイン語 夜間コース	(全8回)	1月14日～3月11日	7名
医療通訳上級講座：スペイン語 夜間コース	(全8回)	1月8日～2月26日	5名

2) 講師派遣等

講師派遣

- ・6月8日(月) 東京外国語大学「多言語・多文化社会論言語技能入門Ⅰ（外国人にとっての医療制度）」派遣者：松野副理事長

- 6月30日(火) 東京都福祉保健局生活福祉部生活支援課
「中国帰国者自立支援通訳員等医療研修会」派遣者：古山理事、松延事務局長
- 7月6日(月) 東京外国語大学「多言語・多文化社会論言語技能入門Ⅰ(コミュニティ通訳者としての文化の翻訳)」派遣者：鶴田理事長
- 7月7日(火) 東京都福祉保健局生活福祉部生活支援課
「中国帰国者自立支援通訳員等医療研修会」派遣者：古山理事、松延事務局長
- 9月19日(土) 日本英語医療通訳協会「第4回医療英語セミナー」派遣者：アビー英語通訳
- 11月1日(日) 新潟県国際交流協会「下越地域連絡会議」派遣者：鶴田理事長
- 11月14日(土) 茨城県国際交流協会「医療通訳養成研修(日立市)」派遣者：松延事務局長
- 11月20日(金) 千葉県精神保健福祉センター「心の保健医療通訳ボランティア講座」
派遣者：西村PA
- 11月26日(木) 埼玉県国際交流協会「通訳ボランティア入門講座」派遣者：松延事務局長
- 11月27日(金) 長野県国際交流推進協会「医療通訳養成講座」派遣者：松延事務局長
- 11月28日(土) 茨城県国際交流協会「医療通訳養成研修(日立市)」派遣者：森田英語通訳
- 11月29日(日) (財)岐阜県国際交流センター「医療通訳サポーター研修」
派遣者：岩本ポルトガル語通訳
- 11月30日(月) 東京都福祉保健局生活福祉部生活支援課
「中国帰国者自立支援通訳員等医療研修会」派遣者：古山理事、松延事務局長
- 12月2日(木) 群馬県「メディカルインタープリター養成講座」派遣者：松延事務局長
- 12月4日(金) 長野県国際交流推進協会「医療通訳養成講座」派遣者：松延事務局長
- 12月10日(木) 群馬県「メディカルインタープリター養成講座」派遣者：森田英語通訳
- 12月13日(日) (財)岐阜県国際交流センター「医療通訳サポーター研修」
派遣者：岩本ポルトガル語通訳
- 12月17日(木) 群馬県「メディカルインタープリター養成講座」派遣者：森田英語通訳
- 12月17日(木) 佐賀県国際交流協会「医療通訳ボランティア養成講座ステップアップ編」
派遣者：アビー英語通訳
- 2010年
- 1月17日(日) 山梨県国際交流協会「医療通訳セミナー」派遣者：アビー英語通訳
- 1月19日(火) 東京都福祉保健局生活福祉部生活支援課
「中国帰国者自立支援通訳員等医療研修会」派遣者：古山理事、松延事務局長
- 1月30日(土) 岩手県国際交流協会「医療通訳ボランティア養成講座」派遣者：松延事務局長
- 2月7日(日) 山梨県国際交流協会「医療通訳セミナー」派遣者：アビー英語通訳
- 2月13日(土) 「かわさきコミュニケーションボランティア研修」派遣者：松延事務局長
- 2月20日(土) 外務省・神奈川県・国際移住機関
「外国人の受入と社会統合のための国際ワークショップ」派遣者：鶴田理事長
- 2月27日(土) 浜松国際交流協会「多文化社会のためのソーシャルワーク研修」
派遣者：八鍬ポルトガル語通訳、坪上ポルトガル語通訳、松延事務局長
- 3月5日(金) 埼玉県国際交流協会「通訳ボランティア養成講座<レベルアップ編>」
派遣者：松延事務局長
- 3月12日(金) 埼玉県国際交流協会「通訳ボランティア養成講座<レベルアップ編>」
派遣者：松延事務局長
- 3月13日(土) 「かわさきコミュニケーションボランティア研修」派遣者：松延事務局長
- 3月20日(土) 「多文化精神医学会」(福島)派遣者：西村PA 参加：細野スペイン語通訳

はっこうぶつ 発行物

- ・「疑問・難問を解決！外国人診療ガイド」メジカルビュー社より2009年9月1日発行
著者 西村明夫 (MIC かながわプログラムアドバイザー)

[日時]2009年4月1日～2010年3月31日 [場所]日本全国 [従業員人員]40名
[対象者]医療通訳派遣制度 及び 医療通訳の養成に関心のある全国の行政職員・医療
関係者・通訳ボランティア等

【⑤事業合計支出額】 3,300,643円

⑥ 日本語を母語としない住民のための暮らしや子どもに関する相談活動

<内容1> 外国籍県民新型インフルエンザ電話相談事業

神奈川県との委託契約に基づき実施された事業で、平成21年6月4日から同年11月30日を1回目。同年12月1日から22年3月31日を2回目として実施した。神奈川県知事による新型インフルエンザ電話相談センター開設に関する記者会見(5月25日(月))には、鶴田理事長が同席した。また、センター開設後の7月17日(金)には松沢知事の訪問を受け、事業の運営状況等を報告した。

スペイン語・ポルトガル語・中国語・韓国朝鮮語・英語の5言語につき通訳を1室に配置し、朝8時半から夕方5時まで昼休みをはさんで各言語の通訳が電話を受ける体制とした。業務の性格上、電話は、病院または保健師と通訳と外国籍県民との3者通話が可能で電話回線とし、相談に対して有効に対処した。但し、幸いにも新型インフルエンザの実際の流行が事前に心配されたほどではなく、相談件数は1回目136件(病院からの通訳依頼5件)、2回目63件(病院からの通訳依頼1件)であった。電話通訳を行う相談員に対しては、6月3日(水)、12月8日(火)、12月23日(水)に研修を実施した。

なお、県との委託契約以前には、MIC かながわ独自の対応として、5月19日(火)より「MIC かながわインフルエンザ情報支援センター」をスペイン語・ポルトガル語・英語の3言語対応で開設した。相談件数は9件であった。電話通訳を行う相談員に対しては、5月14日(木)に研修を実施した。

<内容2> MIC かながわ事務局において、医療通訳派遣などから派生する日本語を母語としない住民の生活に密着したさまざまな相談に対応した。

MIC かながわ事務局における相談対応 14件

＜内容3＞ 日本語を母語としない住民のための暮らしや子どもに関する相談対応に必要な研修等の広報に協力し、参加した。

- 1) 「外国籍県民相談員研修会」(主催：神奈川県県民部国際課) 広報協力および参加
・7月30日(木)「DV(ドメスティック・バイオレンス)の現状等について」
・10月6日(火)「外国人の生活保護について」
・11月6日(金)「外国人の労働問題について」
・1月19日(火)「外国人にかかる教育制度について」

- 2) 災害時の外国人支援講座 (主催：神奈川県県民部国際課) 広報協力および参加
・3月29日(月)「災害時の外国人支援ボランティアに求められる役割」

[日時]2009年4月1日～2010年3月31日 [場所]神奈川県内 [従業員人員]40名
[対象者]外国籍県民、保健福祉センター職員・医療機関職員等

【⑥事業合計支出額】 20,651,904円

⑦ 日本語を母語としない住民の定住化に伴う課題への対応についての行政や地域で活動する団体への連絡、助言又は援助の活動

会議・イベント等への参加

- 1) NGOかながわ国際協力会議 委員参加：小島理事 5月31日(日)、9月10日(木)
- 2) 神奈川の協働を推進する県民会議 委員参加：小島理事 5月14日(木)、6月15日(月)
- 3) かながわの協働を考えるフォーラム 発表 7月22日(水) 発表者：松野副理事長
- 4) 医療通訳士協議会・第2回総会 演者派遣：7月31日(金) 派遣者：鶴田理事長、沢田理事
- 5) 移住労働者と連帯する神奈川連絡会議 参加：早川理事、小島理事、森田PA等が参加
5月26日(火)、7月21日(火)、10月20日(火)、12月4日(金)、1月19日(火)
- 6) その他
・東京弁護士会 外国人支援NGO交流会 参加：松延事務局長 11月13日(金)
・経済同友会NPO・社会起業推進委員会「シボジウム&NPO・社会起業見本市」1月20日(水)
参加：三浦総務部長、田中英語通訳、矢島英語通訳、西垣スペイン語通訳、佐藤中国語通訳

取材

- ・レディオ湘南「防災ラジオドラマ」収録 5月20日(水) 鶴田理事長
- ・TVK ニュース取材 5月26日(火) アンヘル事務局スタッフ等
- ・毎日新聞 取材 1月20日(水)、記事掲載 2月12日(金)
- ・NHK長崎放送局 取材 3月23日(火)

ちょうさきょうりよく らいほう ほうもんとう
調査協力・来訪・訪問等

- ・ 5月29日(金) いばらきけんこくさいこうりゅうきょうかいとう らいほう まつのべじむきょくちょう
茨城県国際交流協会等 来訪 松延事務局長
- ・ 8月28日(金) やまなしだいがくだいがくいんせい らいほう
山梨大学大学院生 来訪
- ・ 9月8日(火) とうほうだいがくいがくぶがくせい らいほう
東邦大学医学部学生 来訪
- ・ 10月9日(金) ながさきけんりつだいがくいだいがくいんせい らいほう
長崎県立大学大学院生 来訪
- ・ 10月15日(木) にほんしゃかいふくししかい きょうりよく まつのふくりじちょう いわもとえいごつうやく
日本社会福祉士会 ヒアリング 協力：松野副理事長・岩元英語通訳
- ・ 10月22日(木) やまぐちけんりつだいがくがくせい らいほう にしむら たいおう
山口県立大学学生 来訪 西村PA対応
- ・ 10月28日(水) こくれんなんみんこうとうべんむかんじむしょ ちょうさき らいほう
UNHCR (国連難民高等弁務官事務所) 調査インタビュー 来訪
- ・ 1月 こうせいろうどうかがくけんきゅうひほじょきん たいさくけんきゅうじぎょう がいこくじんいりょうそうだん
厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「外国人医療相談
ハンドブック」医療通訳派遣実施団体リスト 調査協力
- ・ 2月3日(水) かわさきこくさいこうりゅうきょうかい じむきょくじちやういのせし らいほう
川崎市国際交流協会 事務局次長猪瀬氏 来訪
- ・ 3月30日(火) ふくいけん いりょうつうやく し らいほう
福井県の医療通訳ボランティア ローレン・サッカー氏 来訪

[日時]2009年4月1日～2010年3月31日 [場所]神奈川県内 [従業員人員]25名
[対象者]法人の事業活動に理解のある団体および個人

【⑦事業合計支出額】 215,255円

にほんご ぼご じゅうみん せいかつしえん ほんやくじぎょう
⑧ 日本語を母語としない住民の生活支援につながる翻訳事業

2009年度は医療通訳派遣事業、新型インフルエンザ相談事業等による業務多忙のため、新規の
翻訳依頼は原則受付せず、業務を縮小して実施した。

以下の機関・団体等からの依頼に基づき、理事会の検討を経て翻訳を行った。

- ・ ことぶきふくし 「ことぶき青少年広場」パンフレット (タガログ語、中国語、英語)
- ・ みなとまちしんりょうじょ 「外国人女性のための女性検診」(英語、スペイン語、ポルトガル語、
タイ語、タガログ語、中国語、韓国・朝鮮語)
「MF-MASH ニュース」(英語、スペイン語)

とう
等

[日時]2009年4月1日～2010年3月31日 [場所]M I C かながわ事務局 [従業員人員]30名
[対象者]法人の事業活動に理解のある団体および個人

【⑧事業合計支出額】 326,793円

た ほうじん もくてき たつせい ひつよう じぎょう
⑨ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

ないよう にちじ ばしよ い か
内容、日時、場所は以下のとおり

1) ニュースレターの発行 郵送やE mail で会員等にニュースレターを年間4回発行。

2) NPO会計実務講座(横浜市市民活動支援センター主催)事務局職員、事務局ボランティア数名が参加 1月19日(火)、1月30日(土)、2月9日(火)

3) 東京国税局 認定NPO法人申請調査 10月16日(金)

2月12日付で、引き続き2010年4月1日～2014年3月31日を有効期間として認定する旨の通知があった。

[日時]2009年4月1日～2010年3月31日 [場所]MICかながわ事務局 [従業員人員]15名

[対象者]法人の事業活動に関心のある団体および個人

【⑨事業合計支出額】 3,000円